思問錄

天保十一年佐二公羽林ノ九右ト云ニ基ナリカ

則仗宴擬所紀效顰措大弥作畧論難敢說飾以古國事弱劣模擬美雖出役別之秋文而已而今卑々鳥莫願
世俗笑一味撲實文明之化 莫以為易漢嵓翁
吾東素詩著精彩 螢雪窗 [illegible] 二十年 文章士
墨指生 二字各一書大套
過套 [illegible] 一書大套
點頗暴顯而還 [illegible] 一套ノ内何ノ名モ
本買 卿箸ヘ 雪ナキ過用カ 竜陽
近キリカヒ不意ニ遣キン事ヒシ塵點ナル返リケン題ナレヘシ
得罔望隴 狐狸為用ノ妖怪猶之恐ル
指遣ス事のかんどりよ人のそ
おもてそ
梓誌 一セン

漱之部石鐵四字

語言一小律 絶句カ

注性李大迭翁不安白恵適ノ息 山門望主吉多喜哉

吹ノ字ノ如ク衣ノ裏ノ如ク山伏ノ兜ニテ頓覚西仏ノ等身ニ

此心仏名云々喜望峰ノ玉ト山伏ノ兜ニテ頓覚西仏ノ等身ニ

針治適ヲ引 廿七離魂

画不変潤ヲ本斗方ヲ不変智之碍

陳江摠詩幽居服薬餌山学生虚白字

名鐵ノ勧ヲ鐵小枕ヲ大井川

鑿舟ニ乗石仏ノ乱ヲ海ヨリ

磐渭ヲ歯寒ノ善酒清ノ郎鄭国元

鑒湾服前癌ヲ剜御心頭肉ヲ

書羅家称ヲ何曽別ヲ人

更衣盗跖倶亡羊 建在賢推心置人腹

秋風何来愁殺白苧

退食委蛇〳〵

握耕ヲ貽

范公変舟ヲ意再

通司是ニテヲ

白鐵不授一毛而利ヲ 一モヲヌイテモヒツコトヲイワヌ

之素ヲ貧果良

不浸右三版塾豈可凌乎

膏梁作徴聖人所中ノ聖人ハ衆人ノ名ニシテ

援恵嘉言用錫 詩至ノ字ヅツウ

注ニ基ソノ書ヲ曰ミ亡ヲヤワザハ同ニシトヤンソテ性ニタトヲ

郵厨魚 王陽愛又ヲ慈ヲ恕

上頓酒

禁商

都下
綬襪　治棄
蒼狗ト云ヒ白衣ト云ヒ　皆生百態
治繁　易ク動
剛腰突兀泡影空
汲汲浦（徒一作カリ今ノイトマ）有（古岸字）千載情
垂堂之戒（ケガシテハナラヌ）アアナイ所ヘ出ヨ
通局（ヒロキト広狭ノ如キヲ）　没字碑（無ホウトウ）
何是ク琳而突為是唯（ハイ）
叶詩（詩ヲ）論（ロンジ）絵（エガク）　梅福（ノ）事（ヲ）
未免仲由（ノ）冠（ヲ）纓（ヲ）
呉道子画仲由戴木剣衛孔公畫賂君着帷帽不知木剣創於晋代帷帽興於宋朝挙此凡例亦画ヲ病也

贈一品　李文饒公（注ニアリ）
哭　雄　沢雄（呉道子ヲ名ヅク）
屈曜（狄雄）

左傳……過宋都風也
六鶂退飛奏秋　此外皆當羽白六鶂退ヲ
表裏　花田色
史漢左国
修何（此二字詩經ヲ評セシ事ニ出ヅ）
圓貨三倍量　笑方（カタチ）成造殊（コトナル）（謀算）
従妹　衛ヲ中表（屋頭ニ同宗）　外孫
拾遺法把筆
旅海濱
窓子墨池知天實（ハ）
踏ツリ　面華ニイタル心ニシ
蕪菁（ナガキヲ）謀ノ
蹋踏其軌轍或殿驥麿
伴ト記念シ（軍中ニ五人組ヲ三ツ五伍ニ三ツモ五伍ニ二ツモ一次ニ下奏名ヲ勿忘ル）

頗ヲカシ　危七ーシ

玉井幸作子ヲ哀ム詩

旦以庶幾事之業

渝ウスリ　漓ノ

夢ニ賚ラル寤寐ニ　拊ノ一可憐躍ノ趾半仙人ノ一一

第事記垂頓基　咄嗟裏　現琦君ヲ　穠花

魯国明三壽周詩悼九如ニ　何妨濠濮想　懶朝　隠ス

休寧弱喪人　学業元稲載　山城爽塏閑

斃食良住ルニ無由ス　誰ガ厳詰盗　囹圄廻知ヌ

楽緒　稲載　封句　破旌旆　舟浮洛養田

第子失楽ヲ嗟　鄴才傷化壞　楚賦共招魂

與復摩臣疲ル朝署ニ　大国三軍藉ス殺ニ弧ノ

陥危　冷可掬ス沽嶽中天　譙樓ヨリ　敵闥　厠ノ下ノ

鴨井　朱圉　瀕氛朝洌若木懸

簫撲龍驕疑跼浪　盤礴ノ際旗斃天ニ　淳約トシ

賊人不敢騎ノ韋帯ニ　垢ノ尽　駘ノ

戴勝怡顔長　燕胥ノ　行酒ノ　先公變理満乾坤　和心大泰ニ

已知送酒無人到　纔向貧家客自疑

西荘夏郭倚郊坰

日涉叢叢阿養谷紳

物儀旬復為盟盤　敦食仰お歩

筦窺危乾堤　鞠所指乃盡尽砕筦

設記南山ト隠時　重来佳処不眛思　一缶一罍長如故留

坐酌仙人流瀣杯

得蕭傳更待誰

總而東連若耶闕　司花偏侍太憨生
左手心支著寒氷　不美金州割肉可
高談下飲坐相酬　千今更佐朱買遊
白雲篇　限韻收遊秋　相中大港後江山
大油桐波人頭濛　城西照海燈　舟ノ夜ニ中目アテニスルモノ
繞館千章六月寒　送章菴杉生ニ善鍼術予画有風
痺之病生為之達一期稍覚病已　因賦為謝　唯紀
唯侍触回春色手　著花明歳待君看　身老樹ニ比ス
侵蓮扁　三日琴ヲ留庄　多時花及郢客西三日重
来路不通　盡ク春風桃李ノ村ハ已是路成踐
一半年光似夢中　閑覚ル書　無縁ノ剛或因姻
唖余取無仕ノ　時　稗官鎖碎笑足　愁寓

足ノ不ノ人ニトリテモラクイ　失為ニテ是
算屐屋ニ行却足ラルトラ知ラス共ニ
法ナトリニモトル　出墨ナリ

并髪　強軋
年紀ニ當近歳次庚午　謬方以圓當可手裁
之日前上春　黠劇　後ニテ回ノ宝　麺道ノ　酸稍ク毀
若來野於唐肆　鄭人市優信度ノ不信是　誕
敷仁徳　含生之物　莫不被沢　櫟　廩禄于
信ニ折脚ノ鉄ト銘ス　績　庸昇剛ノ上ニ　諮度ニアラズ
賜暇ヲ　出テ就外秩ニ　辛業
杜簡嚮ノ　誇語ノ
封畛於肥　宏器業由
長川鑑國ニ学者　園（總合ニ）
白面　日ヌニ以スルノ　泪沢　器械
敷訳鐫鏡ニ船　徹其宮
杓燭不照甚跋ノ　威震　坐作進退疾徐踈數ニ帝
有才百夏者　瀆視ノ無才者不

快一生ニ侮慢之心 䶢䶢トメ 皆失望シ羊公鶴ニ
時ろ、大ホ佳ナラ 天下大業可以唾手而收
容遂垂帯 花蘭之支 蜘蛛瑞斫記
參戸入曰 故態 寔 長六寸 有餘
廣居参分ノ長之ニ 厚于乃称之 不遑刮目
中ル所擬スル 踣タシル 霊ハ郛 取裂リ獲テ 格殺之
獻夫大掿旅 御剃 (山沢之官) 巻紙中識 沛上
巻紙ハ矢ノ根ノ中ノ名ナカ 統丸テツホウタニ 箭豪 ヤガラ
逢蛙出並ヒ作リ 茳巧以射利者 捨ヒ其唾餘ヲ綴以
為全幅 甚乃至有造無根之言 假托夫子名者
督乱 夾塏タカクアキラカ 佳謙 貨遂
陂陀 逈廊 上原ツ 踘鞠ニ
(ヒロシ シカナリ)

剣墨ヲ難读
論ヲ子孫ヘ以テ
ヘテナリガルヲ

㸌然蛾行 有モ 外幹 外用事 不問食時与陽中
素之故吾而不得焉 慮嘆変態 姚佚啓態 嬴餓 茅栗
畝葱韮 醂㾾 青蝿 不能僕縁 厲一天ニ高翔リ
既已ニ左矣 副墨洛誦 昔日所聞人テ已ニ 還之ツ参寥ヲ附
之疑始ニ 則所見聞百不記一 而見面目 謳一萬
洛誦 偷生 憎嗌 背滅 謗曰 文近 爛天下半
数社ヲ 識緯日出 街談巷議 決皆 大キク
多ク 受奪ツ 襲服ス 舍 貧民逋負ヲ 恭么ノ麗
慊 輔 詒謀ツ 雅幕 失恃怙 附ノ葬ル
暬御 毗翼ハ 藩次 輙ち 卖鋤之 錆銅鉄以塞隙 謂塞其仕進之道
形関 不潰 于成 詩小雅 恤其児女孤 仲 約
詒厥燕翼其在後嗣ニ乎 安一暦シ 蜷

窀穸 闤闠之政 扼諸鐵 瀲灩之
〃船二百艘 募魁擬之 顛隷
專權得壇 皆尽鳩褎 諧 倖遊ハ子々
中詰 窀錮教年 稔熟縱惆
未仕者 嘆君 克肖東璧 毎言東璧
不死 有険刻人 疾其難逆水沓 背憎至縦責怒邪幽
笑受已 義学犯不校 扣視切靡剣 又明其等回積其
擯賓 閲閲 積功 経歴 今人以家世門戸 等
傲 儳入 参雜 嘐名展観 茶
鷙才創奇 糅錯 索求捨遺
所詠國風 玉質金華盈竹簡 刻舟膠柱
謬以一日之長 為郷曲所推 今之居停問

不遑謝絶 萬歳 積日漸之差
且復手和 在病褥 為二豎子所守 遂
綫報國至此 外所承賴和川窗紋紙五百張識
心嘉貺 亦煩上人為僕石學謝 財又倚相辭
曲摘費金木竹 黿珠蓋角 不必數也 其
西託 跧伏 蟻慕
流丸止於甌臾 亡羊補牢 未以為遅
群疑氷釈 不待家置一喙 也山之石可
以為錯 意氣 佻 蝹蜿 伍 蛇
跕夫独之 戯夫馬 衡 賃銭 人夫馬
奔走 辨同 勦村皆右家所占住
榛莅 野里 謹譯 肇洞

疋駮雄談、軍士ガヤシ 郤行反行。連行紆行和
迴き飜如し 杜杖 踹跚 サンテツエノ サイセキ皆新し 相労 メカヒニノ メカヒメテ
糸縛紛絢。絶ニテ無古色
買魚ノ供下物ニ 今己迎春、恭喜享福之慶。想フニ
當ニ益新ナル 去秋ノ報。皐後至今。幸ノ罪為京製
箚謹ノ謝大恵ノ 次念六念ベノ日期ノ
饞子ノ分 饗食人良不廉
不懶メラ 熟炭煙尘ノ 雖有委蛇不能窺隙寓哉
四顧ノ日暖ニ日リ 維蓍之寿人懐良辰動乃
箕畢為業ノ多破敷與。 苦此霖霪ノ冥濛過
日耳。 異徴ノ以救待
洒室懸罄薄 鎧ノ不給 尓日ノ詩債今即償ヒ
ナニモナキ 四壁ノミ立リ

而能為埜ノ用其至也
清晏日ニ勝ル 睡帳 迷スナ 倒景
奉送ス 枕乃時候 蝦埜ノ以動ク徴ノ
吾ノ 生適ソグリ竹ナ 蝦埜ノ以動ク徴ノ
暁ニ煞在ノ繙繞ノ中ニ 熱泉ノ香ノ 顕ノ気ニ
暖 煖帽ツキン 目 若煮ル豹ノ在ノ於嚢檻ニ
寓視ノ其所ニ誅ス 今晏 病餘ノ喫薬
詣ス伊威ニ 峻拒ス極ニ 鷹烏 ニナサメテヨモロフノ
悠悠ノ子嘉客之過ス久矣 悠懇ノ不已 一勤ム 作徒客
衣ニ 恩 義
是又却 ヨリサル 雑彗 梱 翻 紹音

恒心 懍心扁トシテカ 字ヲ以テ名トス

行フモノ 外ヨリ称スルヤ十八字ヨリ以下ヌヘキ

七才筆十五帖　国法落名　韓康賣藥長安市時一丈子従康買藥
有ニ價康嘆曰初本欲避名今子女子呼名
何異若言
歳在申酉乞驟得酒出朝野会戴　近況　松況

藥菜弁月　松況

右通稱二出　面摘

滿面カキニノカラトヨム一ニ　摘樹

一名小上向一名下向トモ

茶右摩擦起吟聲　茶ノ多キ土ヲ此ニ左傳アリト

ニコトヲ後漢ニ知ラルヘシ　卵ニ多ク白ヤカトシテ光アリ

包　字　竹冠　爪訓ノ下ニ　カヘルノ卵ノ内ヨリツクリ多ク醫家ニテ用ユ

カリフシ金ヌルヤ此意ニ　笛　篠　淅

和讀要領

輪湊（アツマル）　訛（ゲン）鉢（ハチ）

句（ク）死（シ）スヘカラズ　句（ク）ハ日（ヒ）ノ傍（カタハラ）ノ篇（ヘン）

元（ゲン）気（キ）　茫（ボウ）然（ゼン）トシテ（トヨム）ヘカラス　杭（コウ）州（シウ）　隣（リン）詩（シ）

通（ツウ）称（セウ）ス　滞（タイ）ス（トヨム）　補（ホ）ス（トヨム）　溺（デキ）ル

逢（ホウ）迎（ゲイ）　字異ナリ　義（ギ）ス（トヨム）

高（カウ）麗（ライ）　衰（スイ）ス（トヨム）アヤ

歌詩（カシ）ニモ作（ツク）ル　陸（リク）ノ詩（シ）ニモ多（オホ）シ　大（タイ）轎（キヤウ）ト訓（ヨム）ス

須（シユ）臾（ユ）　古（コ）事（ジ）ヲ通用（ツウヨウ）ス　仏（ブツ）ニハ多（オホ）ク用（モチ）ヒル

徒（ト）然（ゼン）　牧（ボク）伯（ハク）　流（リウ）布（フ）

俞（ユ）江（カウ）輪（リン）　公（コウ）轎（キヤウ）　耶（ヤ）輸（シユ）陀（ダ）羅（ラ）

鴛（エン）　鴦（アウ）　猩（セイ）猩（セイ）　獲（ワク）

進（シン）　退（タイ）ス　異（コト）ナル　者（モノ）ヲ謂（イフ）ナリ（ト）

懐（クワイ）　類（ルイ）　各（オノ）〻（オノ）　其（ソノ）　所（トコロ）ヲ　得（エ）ル　者（モノ）ノ　如（ゴト）シ

（推（オシ）ス　ニ同（オナジ）ク　ス）

梁（リヤウ）沈（シン）約（ヤク）　馮（ヒヨウ）音（オン）憑（ヒヨウ）（フトヨム）ヘカラス　隣（リン）詩（シ）ニ

杉（サン）坡（ハ）　逢（ホウ）掌（シヤウ）

寛（クワン）　雖（スイ）（トヨムアヤ）

崑（コン）崙（ロン）　都（ト）ノ（ヘ）ン（ト）ヨム（ヤマヒ）　筆（ヒツ）者（シヤ）ノ　新（アラタ）ナル

（崑（コン）崙（ロン）ハ　天（テン）竺（ジク）ノ　名（メイ）山（ザン）ノ　名（ナ）ナリ）

雖（スイ）　難（ナン）（トヨム）　敵（テキ）（トヨム）　タ（ガ）キ　羅（ラ）

（雖（スイ）ハ　異（コト）ナル　者（モノ）ヲ　謂（イフ）ナリ）

遵（ジユン）　信（シン）

殷ハンノ一音 咽ノ清ヘシ 冒ボウ音圓又瞑ノ清ヘシ
燒ショウ 俗ヤク ミヤケヨム 簡カン 取其血ノ輮ジュウ 楫シュウ カジノ
釧セン 古ノ弄ノ字ト同 嘲チョウ 解ノ俗 龍カ文ニ作ル
驚キョウ 海カイ 黽ビン 蛙ア ト同シ 蜻ワナルベキヲ誤テ
菅カン 蒯カイ 御禊ノ巫ノ心油ヘシ 蒸ジョウ スムヘシ 硫リュウ 舍親ノ
醋サク 清 陸ロク ムツヘシ 由ユウ カトヨムヘシ 五ゴ ヨトヨムヘシ
尼ジ 妣ヒ 尚父ハ上ノ制ノ考ヘ 虜ロ 膿ノウ 豬チョ ワイ 豬ト同シ
澁ジュウ ヒネヨムヘシ 醍ダイ 油ルハ誤レリ 敏ビン 吻フン 例ノ枚同ジ
愷ガイ 弟テイ 清 墳フン 鐘ショウ 軫シン ト同シ 喘セン 清
綰ワン 漢ノ盧ロ 誤レリ 龕ガン 油ルヘシ 仰ギョウ 仰ト同シ
梁リョウ 朶タ ト清ヘシ 墮ダ ノ字曼ト同シ 薩サツ 埵タ 安ア 清
杏キョウ ハ呉音 紐チュウ 召ショウ 可カ 歩カ 減ゲン ト塞ソク 卦ケ ル

膿ノウ 斗トウ 枸ク ヘウ 苟コウ 垢コウ 苟コウ 眷ケン
取ルノ音ハ枳ノ誤ナシ 戒カイ ボリ 今改ムベシ 雍ヨウ 蔽ヘイ 篳ヒツ スイ 率ソツ ルスイ 總ソウ ト注シテ
此時或ハ類字ノ用俗儒多クハ是ヲ知ラズ 帥スイ ヒツノ誤ナルヲ誤レリ 帥ト同シ 孫スン 成シュン 辺ノ字ノ誤
降ノ字誤ト云ヘル説朝大事ハ卜ヲ將ニ 絲シ 祭セイ 貯チョ 顧ノ轉ノ訛 本貯ニ作ル
細サイ 滞テイ 字誤ノ類ニメリ ントヨムハ貯字ト混同セルニ 眄ベン 考廋 鈔視ト註シテ
見ル心説文ニ目偏合ノ一目ノ別テ一目ニテ視ル 貯ハ 俗誤テ貯ニ作ル貯ハ
本別字ニ 孟子貯ノ字 然モ記ス美目貯ノ人ハント 就顧貯ノ
貯ハメントヨム 貯ハ貯ノ二字混同シテ誤レリ 向キョウ 呉ノ漢 牛ガ 寒ノ熱
畜キク 六ノ 宿シュク 漢ノ剰ノ字 呉ノ音ハ地名 性ナリ 羊貯ノ字モ向
一ニ美良ノ産ノ生ハ養ノ義ナリ 入声モ可シ 幼イウ 放ヒョウ
一ニ美良ノ産ノ生ハ養ノ義ナリ 秩庶ノ筆チクト讀ム 止ノ字ノ誤ナルヘシ

鷸ケリ　易大ノ小ノ　汰ヨクトヨムハ淘ノ逸字　ヨリクトヨムヘシ
辛ミエツ大夫死ヲ辰ト云ツツトヨムハ誤也　祓フツシ祭也　火ヲ除ク
字母ホニミタカラモノハ懸ノ　椶ハ別字也　虐ギャク　ギャクハ謔也　瘧ギャク　字ヲ遅ニ
詭キャク清ヘシ　喙　啄ヲ　逆　紅ノカナガ読ム　二分二　此音
ノ来ノ悦　閑ノ俗語ノ一纔皆是ナリ　又　讃辭ノ語ノ莫ノ無莫
左傳吾語ノ従　毛詩誰ノ為容皆是音又嫡字ト近聞ス
此外ハ皆譯ノ音　主一無ハ　高ハ　孝ハ　擇セヲ
職同　○摺疊ノ一　怒ウトヨム　足　鋭ノハ縣ノ足ノ　司寇　司寇
○字ノ他字ニ二キル　ヲアラハ別チ讀ヲ敢實トス
嘗　清テヨム　嚐　四時祭ノ名　禘嘗蒸　中ハ洪清ハ蒸字ニニモル
驚　キョウノ風ノ悖ノ類皆同ノ音　但七情ヲ言ニ　性情　五味ノ中ハ
喜怒憂思悲驚恐　蒸ノ音
鹹字ヲ除ル　甘二キル　衛　栄　良清字也

八卦艮坤　法帖ナトノ字　字ノ篆　縁トノ隷カクキニ真ノ字ヲ以テ
毎字ノ傍ニ附註スルヲ秘文ト云　又仙書ノ梵文ニ漢字ヲ以テ其音ヲ
附註スルヲ對訳ト云　對注トモ云　漢字ノヨメ難キニ國字ヲ以テ傍ニ
附去スルハ對訳ノ類也　傴デリ　扼デリ　賠カニヒスシ　本生　新生
南山東方　連売　天王　越王　南彭　八彭　遠方　葛伯　嘗衣モ
蒲　清ノ生那　又源範頼ノ御曹司　圓ニトカ　灑洒ソソク
乃廼同　スナハチトヨム　一ニシハ吾国ノ古語ニ附ト云コト　傑　和訓ナシ
カチナトヨムハアレト　貢ミツキ　辟サクル　辟サル除ク　賢　貴
流イトヨムヘシ　イクコトハアレト　背セ　脊セナカ　膂リョ　脊ハ脊骨也　ト　亀ヲ
ト云　蒼ヲ揲ノ筮ト云　筮ト皆音ニ流ヘシ　ウラナウトヨム
躍ヲトル　逆　遂　逐也　癰腫ノ気ヲ療セハ膿血走リ出ル
ミルト云　躍ハトヨリシ　トリ上ル也　水ノ撃レテツトリ上ルモ躍也　迫セヒ

論（ロン）ノ字（ジ）ノ音（オン）ニ依（ヨリ）テ訛（アヤマ）リ又（マタ）ハ誤（アヤマ）リ讀（ヨム）ナリ
ノ字（ジ）ト讀（ヨム）ズ又（マタ）ヤシナウト讀（ヨム）ハ誤（アヤマ）リナリ
ト云（イフ）義（ギ）又（マタ）ノミモノノヒモノト云（イフ）義（ギ）ナル故（ユエ）ニ學（マナブ）ヲ入（イル）ル者（モノ）ニ諛（ヘツラ）ヒ
佞（ネイ）佞（ネイ）イシイト讀（ヨム）ハ誤（アヤマ）リナリ 程（ホド）ノ字（ジ）ハ程（ホド）ヨリ又（マタ）稜（カド）ヲ削（ケヅ）リ
書中（ショチュウ）ニテハサホトヨム（サホトヨム）ト訓（クン）ス 梳（クシケヅ）ルヲモカキトヨム（カキトヨム）ト訓（クン）ス
夾（ハサム）狹（サシハサム）其（ソノ）如（ゴトク）示（シメ）ニ諛（ヘツラ）ヒ鄙（イヤシ）ク
陷（オトシイレ）テ諛（ヘツラ）ノ說（セツ）ヲ知（シ）ルモノ天下（テンカ）ノ治（オサマ）ル事（コト）ハ
上（カミ）ニ於（オイ）テ一日（イチニチ）ニ萬（マン）カ加（クハ）リナントイウ（イウ）義（ギ）ナリ
字（ジ）ノ誤（アヤマ）ニテ 皆（ミナ）所（ショ）ノ遺（サズ）ト讀（ヨム）キ心（ココロ）其（ソノ）字（ジ）ハ期（ゴ）ヲスル詞（コトバ）ニテ
変（ヘン）ヲツモリハカリテ云（イフ）時（トキ）ソレトシ（治）
云（イフ）ニナラント讀（ヨム）キ心（ココロ）ナリ 上（カミ）ニツレト有（アル）ハ下（シタ）ニテ云（イフ）云（イフ）センノ
遂（トゲ）ル 変（ヘン）名（ナ）諫（イサメ）ル 國（クニ）其（ソノ）如（ゴトク）キ諛（ヘツラ）言（ゲン）等（ラ）ノ
（其ノ數ノ止ノ字ハ誤リテ加ヘタルナリ）
（変ノ下ニ國ノ字ヲ脱セリ）

（自ラ撤ル也）
無（ナク）可（ベカラ）大（オホイ）ニ簡（ヘダテ）而行（オコナ）簡（ヘダテ）

造次（ゾウジ）モ必（カナラ）ズ顚沛（テンパイ）モ必（カナラ）ズ是（コレ）ニ於（オイ）ケリ
夫子之言（フウシノゲン）性与天道（セイトテンドウ）ニ言（イフ）及（オヨ）ハ無（ナ）加論人（クハロンジン）ニ
吾亦（ワレモ）欲（ホッス）無（ナ）加諸人（クハショジン）ニ
竟（オヘ）舜其（シュンソノ）猶病諸（ナホヤマヒトセリ）川（河ノ字ノ誤リ）其（ソノ）舎（ヤ）諸（ヘツラ）
久矣（ヒサシイカナ）吾（ワレ）不（ズ）復（マタ）夢（ユメニ）見周公（シュウコウ）ニ
不（ズ）荘（カザラ）其（ソノ）位（クライ）不（ズ）大（ダイ）夫（フ）ノ
吾（ワレ）嘗（カツテ）終日（シュウジツ）而（シテ）思（オモヒ）矣（ヤ）不（ズ）如（シカ）学（マナブ）也（ニ）
子（シ）曰（イハク）以正（セイヲモッテ）ス 選於衆（エラブニオイテシュウニ）
郷人（キョウジン）皆（ミナ）好（コノ）之（コレヲ）何如（イカン）ト 其（ソノ）不（ズ）可（ベカラ）也（ナリ）
未（イマダ）若（シカ）郷人（キョウジン）之（ノ）善（ゼン）者（モノ）好（コノ）之（コレヲ）其（ソノ）悪（アシ）者（モノ）悪（ニク）之（コレヲ）也（ナリ）
是（コレ）故（ユエ）ニ君子（クンシ）ハ為（タラ）諛（ヘツラ）無（ナ）キヲ為（タラ）佞（ネイ）ヲ 人（ヒト）ノ字（ジ）ノ誤（アヤマ）リ
而已（ノミ）矣（ヤ） 君子（クンシ）疾（ニクム）没世（ボッセイ）而名（シテナ）不（ズ）称（ショウセ）焉（ラレ）ヲ
大学（ダイガク）ニ此（コノ）以下（イカ）ニ没世（ボッセイ）ノ名（ナ）ヲ忘（ワスル）ル
（前ニ没シテモイテ後民イツマデモ其ノ名ヲ称スルヲ）
身（ミ）没（ボッシ）而（テ）已（ノミ）ハ再（フタタビ）ビ見（アラハ）ルニテトヨム

承孝時撫以詰
今也或是之亡耶　夫七ノ亡シ
寵ヲ見シ家ニ室家ト好一緒ヲヨキ
如ク自他ノ差別アリ　中庸
書ヲ好合スル和好ノ義ニ美好ノ義ニ
来リ易シ　人ヲ言ヒ注ヲ若ク易シ
ヨメハ治字ニナリ去声ノ字ハ平声ノ
五ヲ為ス　範法度ノ如クスレハ　其妻妾不差
舞蹈之　ヲヲ於前ニ　白雪ニ白ノ字
白羽ニ白ノ字法ニ白ノヨニハ
今両点従来而焉ト
易教以直内　ヨコレヲモッテトニカラス
而ノ字アレハ上句ヲ云ヒ下ニテト流ル字アレハ上句ヲ云ヒ下ニテト流ス
大率　大概
必其之用ニ其ノ字ヲ云フコト出ル
ヲ云ハ若ニ出ル然ル東那ニ
用ル多ク倭俗江山ヲ
往歳　往年　昔成　昔年ヲ
解道ストヨムニヨリテンスルトヨム
正火上火　酒漫面ニアフレテ
焼灰蒸ノ灰ニ蒸ノ灰ヲ用ル　蕎面
其汁其酒ヲ用ル　林汁林酒ト書ス
不為困ニ　困ヲ困ルヨリ転ノ字ニ
蒸ノ灰ヲ用ル　朝食　早飯ヲ
晡時　日中　中食　昳昏ヲ久ク

刺迄ニテ人ヲ叱咤スルヲ迄叱ト云　迄厚　迄拿（ノ中ニテ人ヲ名トー）衆厚

○墨点　批點　ケヅルモ讃ニハ中間ニ点ヌ又句ニハ圏ヲ用ヒ読ニ點ヌ（ケヅルモ共ニ訓ノ用ルコトアリ共トキハ句モ読モ皆ニ点ヌ

評点トハ文章ノ見ル中或ハ語ノ奇特ナル處或ハ字眼或ハ文法ノ波瀾アル処ヲ揚記ス頓挫ノ処ニ点ヲ加ルヲ云或ハ○ヲ用ヒ或ハ●ヲ用ヒ或ハ圏ヲ用ヒ或ハ中ニ墨ノ書ニ先傍ノ用甚広一例ニアラズ定テ教ヘタシ中華ノ書ニ先傍ノ點セル本多シ集テ看ベシ

圏点トハ字ノ傍ニ鉤書ヲ用ル章首ニ「」ヲ用テ前後ヲ隔ツ諸ス諸是等ノ書ヲ点スルニ中華ノ人ハ青黄緑紫ヲノ色ヲ兼用ヲ旨

畫トハ　**地名**ニハ字ノ右ニ單畫ヲ國名ハ雙畫　中華ハ惟人名ニ單畫ヲ地名ニ雙畫ヲ中華ノ字ヲハヅシテ畫ス又別ニ左ニ書キ字ニハ字ノ中ニ畫ヲ是ヲ抹ト云窪抹ヒヌリケズシ書ヲ点スルニ中華ノ人ハ青黄緑紫ヲノ色ヲ兼用ヲ旨

元ノ許衡カ通鑑綱目ヲ讀ニハ五色ヲ以点ゼシトカヤ是識別ニ便ナルノミニアラス同ヲ心ニ任セテ他ノ色ヲモ兼用ヲ可シ　**抄書**トハ抄ハスキカキ抄書トハ書ヲ看ルトキ有用ノ語ヲ抄スルヲ凡書ヲ讀看ハ必数十張ノ紙ヲ小冊子トナシテ奇字要語ヲ抄スルヲ是ヲ五ツノ益アリ一ニハ故事古語ヲ記憶スニツニハ他日ノ撰閲ニ便ヲ三ツニハ字ヲ識世ニハ書学進ム五ツニハ抄スルヨリテ其本書ヲ覚ルヲ必精ニ繇ル抄書ヲ已メザルコトヲ以テ也ハ左ニ整正ニ書ニ當時心ノ忙キヲ以テ抄書セバ必真字ヲモ先カリ如ニモテ後日ニ改写スルニ數ナリ歳月ヲ歴テ看ルニ挙字ヲモ胡亂ニ書メリ

然ハ己カ手跡ニテモ読カタキヲトアリ況ヤ人ニテ者ヲキトアル
必人ノ語ニムルナリ論ニ書ヲメルモノタニモ三寫スレハ烏焉馬ノ
謬アリ況胡乱ニ書タルヲヤ惣テシテ学者コレノ慎ニシヌ凡学者ハ
楷書ノ学ハズハアルベカラズ学問ニ用アルニト楷書ヨリ要ナ
ルハナシ楷書ハ真字ナリ 蒙(スベ)書法 点畫心畫ノ意(ハシ)ノ
ニ或ハ圏發(カク)ト云其法字ヲ四ノ角ニ加(クハ)ヘ乎(ヲ)定リテアルヲ云者ノ本ト云余ハ陪ト云
モノニ本言ハ点畫ナシ 悪字アシキ本言ヨリ云ヒハニテノム
平声ハ烏ノ字ヲ通(トヲ)ニテイフヲソト訓ス 知字ヲ去声ハ智字ト
同ヒ智慧ナリ 繁(シゲ)ク冗(ムダ)カシ 簡約(ツヅメテ) 精覈(カタク)ノ 注疏(ソヘ)ノ
條緩(ユル)ニ読(ヨム)ヒ急疾(セハ)ナル(カラス)去声郷言(ニシテ)ニシテ吾伊(ヲレ)ナリ(ヲ)
善トス 音伊(ヲレ)ハ不倫倒(タヲレ)ルモノ書ヲ讀ニ滞(トドコホ)ルヨトアリテ読過(ヨミスゴ)ラレヌ中

故伊(ヲレ)ト云声ノ出ニテソメクシヒシ

風信問答序

春之遊有数多矣擲杼子買羽子也頃睦月初始話
曳猴先生之荘先生停盃和歌悠々如也寔為処于前
予一巻書曰過夕吾昇初夢客有忽為処于前
語奇若豆藏言好若猫附而歌計五吾知五口謂何員
為然逢面則不出口臭論難問也吾頻醉矣因返
荅跡蹰終空絶倒雖物乎者懶鐘歟夢無跡覺去
而已夢中之客者世所謂幽昇與不然癒是昇也乃
綴應對為一巻一女為吾判為予曰天未扱先生之名鬼
霊其如先生何益夢中之客酒樽之精也乎中哉否先
生曰然矣有此変也吾於樽得其所哉々々々々吾若
添川以女為扶舟為予即覧此書先生最書盡矣誇謝

以尚也因以風路名之夫盧樽有如斯説況於飲郎
是所以爭貴辭也時安永丙申孟春之月丁丑

薩羅道人序

風俗問答 今様浮世

薩羅道僻 著

或人余に問て曰予口なともあやふくて世にしらず是
何如答て白く後湖をもてなすにをかしき事あり是
にもうして源の者数の呉世挑の綱をさも世なり白
何をも丈なりし作日記ちうとかけひくありとなでまらぬ
以て語つ余曰某作して来なりけり是下の為に
なりてふ得ちん譲り白ふの土基せの杓ける事でと
いふんやて比ありとの生害の生辞ふらにあけらて禁
酒ありといふ卿は体して坊きいふ天子日月の行
曲あり此文賭博の籠るのりかくりさ四つ事に
我父の重ありとをさのし賭つけて極ふいで
悪小薪し親の教訓も女房の怨根も少きる者

治承年間に信濃の古今為衆と云ける者
信をひ川ともに理屋をかまへ
妹一人ある程にて侍従の
妻神一神宗五女の
日管と云ける人も
うへ一孫なる女子
食勿論一人も
風呂ゝ
屋大将を
海子再びいづくとも
つも十年余
紀矩を

小紬の二子重ハ瀬川
又ハ三月山茶花ハ深雪
ハあしたその生駒
案ニ回向より新の
ねくを始人参云ふ
お茶吾ハ江國金龍山
多り油屋月江を飲
あり吾妻の我を
幻二ハ度を
生のき南りの事
是一ツ新をあ
京ニ弱ニて楽

絶てもき川いまもなく新ハ小笠をつけている
生ニうりてやうやく新
をねとまよまる梅の
ちまハ生ニ明ちや酒
歩りた語小云ニやもハ
北ニ学ニ一条好
ハ須すのやねる
ねるまこの世界
幸住小住境あり
多ニのをを
北ニ

土弓出矢似漕船　繁ゝ再停亭奥山　蜂泥鰌三
度廻求銭實令客　有口流涎恨不投　財満小笟
茶妻日商莨萬銭　扱如猩ゝ飲百泉　含笑貴色
称拂邉楊枝當世　美少年羅曰艶眼　望亭前
瞪加玉ち落中天　軀振重催濡仏前　春中往ゝ
廻揺邉謳歌一度　数百錢浅草寺中　處ゝ遷
聴子満來不更篇　自称次是呉中船　品玉代ゝ
妙計傳生瓜出鳩　往来前拂手開氏　帋如雲
烟源水異蜆方卓然　高慢大言驚四邉

古院中八撰歌

東しかうりて御ヶ岩みも此ゆ立質みてあられ
此ま霧の戲のこまん鳥ゝ立地見物ぞまや

東やさ此やゆかつて善いら何そえかりり述て以く花
とさすれ病人の岩を語てもしまる此るさゝや謝也手

風俗問答終

附録

妙方の國ましやの色小出しつ故にやこたん知りける
馬たち還りたまゝしてよりとよ者原き墓の
州とゝ冬つけまふ常にしもなくて凡本像ほて
松宮ころかひこれを百遍ふ神風理て尤たる小き
そひ中の町の乙女とあやかしきの袖とこの石
あまし此ともきしもさまもこの里也寺いり
きなゝ尚まん抔めの出あひ寺とも也小まとはりさ
龍田さんまで

霞開土手晨色揃吉原春嘉例家〻望蓬
莱依是新

梅興

うつゝかなひなすゝきみ
いつまでもあるの琴ひを
行聞駒霞音更見全盛色繁華歩
曷追又徘舞大黒

青楼賦 并序

夫以人生飲遊里酒而後無野や麦洞楽三
諱助戀ニ于契情不厭物前不遁月花雪積
夜而之夜抜氣於三襆之裡放心於二枕之上
而通和漢色可謂無野美臣請献青楼賦制
曰可や為恐惶謹言
望彼青楼春色已深鶯出山谷而遷陌頭赤。
離閨闥而群郊丘素見行陸阿容来溝中
坊花發五街杉逕珠玉之美不天女何風流
琴瑟之艶不仙人何大遊廻向無尽酒宴無
休軒廻来侶戯蝶警君馴人優楽只君子豈
不滞留

多猴山人劉道醇題

小鄭酒

馬と七川ゟ池ゟ里のその無　三盃
寒ゝ雨ゝ来ゝ泊ゝ酒ゝの梅ゝ香ゝ　金巵盃

玉匣
流鶯
春紅
飛蓼
瑤林
酒葦
隨羅
多根